

車道を走る中速・中型無人 自動配送ロボット



- 社会課題・地域課題・物流課題の解決に向け、無人自動配送ロボットの
実用化に向けた技術開発・サービスの検証を推進
- 深刻化する配送物の増加と人手不足の解消
- 高齢化に伴う移動や買い物に困っている住民の支援

目指す将来像

京セラコミュニケーションシステムは、中速・中型無人自動配送ロボットを活用し、必要なモノやサービスを必要とする人の元へ届けることで、子どもから高齢者まで、誰もが安心・快適に住み続けられるまちづくりを支援することを目指しています。無人自動配送ロボットを多様な用途で活用する事で地域の社会課題を解決します。



技術の特徴

国内で初めて*無人自動配送ロボットによる車道での実証実験を実施

- 中速・中型ロボット（ミニカー規格）を活用
- 一般車両の走行を阻害せず、車道走行を実現
- 周辺の幹線道路を活用することにより、配送距離を延伸し、対象エリアの拡大が可能

無人自動配送ロボットに多様な機能やサービスを搭載

- ニーズや用途にあわせた機能の搭載が可能（ロッカー、温冷蔵、決済機能など）
- 電子マネーを活用した決済などに対応可能
- スマートフォンアプリからロボットの現在地を確認

*当社調べ。中速・中型無人自動配送ロボットが車道走行する実証実験として。（2025年1月時点）

